



めかるナハセン通信

【発行】第17号(平成29年10月)

なは市民活動支援センター

〒900-0004 那覇市銘苅 2-3-1

なは市民協働プラザ 2 階

「助成金活用講座」開催！！

去る10月7日センター講座を開催しました。「助成金活用講座」と題し、講師に多くの助成金採用支援のある「沖縄県難聴・中途失聴者協会事務局長」の渡久地 準氏を迎えました。受講生から各団体の活動の進捗状況や近況報告をしてもらい、お互いの活動を共有しながら、和やかな雰囲気での始まりでした。

助成金獲得後の活動・運営での経験に基づき、実際の資料も交えながら、各ポイントごとに丁寧に解説していただきました。疑問があればすぐに質問できる講義の形も好評でした(^O^)



◆参加者の感想◆

とても勉強になりました。たくさんの情報の大切なところが結晶化されたようなすごくわかりやすい内容でした。ご自身の経験をもとにしたアドバイスなど貴重なお話を聞かせていただき感謝します。



センターからのお知らせ☺

▽▲▽消防訓練に伴う一時立ち入り制限について▽▲▽

「なは市民協働プラザ」の消防訓練を11月15日に行います。消防訓練中は一時的な立ち入り制限を行うため、なは市民活動支援センターの使用が一時的に出来なくなります。

貸会議室、印刷機及び交流スペース等のサービスもご利用出来ませんので、ご注意ください。



▲立ち入り制限期間▲ 11月15日(水)14:30~16:00





イベント情報(°^°)

①『NPO 法人会計基準フォーラム』

平成 29 年度に改正される「NPO 法人会計基準」の改正ポイントについて知識を深め、NPO 法人の情報公開の重要性を再認識し、会計基準が普及するための意見交換の場として NPO 法人会計基準フォーラムを開催します。

①基調講演

～寄付者、支援者に信頼される NPO 法人会計基準～

講師：白石 京子氏（税理士・CFP、NPO 会計税務支援
福岡（NAS）副代表・事務局）

②パネルディスカッション

～NPO 法人会計基準策定から 8 年の検証と沖縄での
普及について考える～

コーディネーター：白石 京子氏

パネリスト：照喜名 通氏（認定 NPO 法人アンビシャス
副理事長）
大城 逸子 氏（大城税理士事務所 所長）
佐久田 由紀子 氏（沖縄県消費・くらし安全課）

日時：11 月 13 日(月) 18:30～21:00

会場：沖縄県三重城合同庁舎(ていりる) 4 階 401・402 研修室
(沖縄県那覇市西 3 丁目 11 番地 1 号)

参加費：無料 定員：100 名(要申込)

主催：沖縄県 共済：NPO 法人会計基準協議会



②『助成担当者のための 実務セミナー in 沖縄』

助成金・補助金の実務を担当されている職員に、効果的な助成事業を行うために考え方やプログラムの運営について学びます。

◆講演◆

～効果的な助成事業を行うために～

講師：渡辺 元氏（（公財）助成財団センター
事務局長/プログラムディレクター）

日時：11 月 17 日(金) 14:00～17:00

会場：(医)天仁会 天久ヒルトップ「地域交流室」1 階
(沖縄県那覇市天久 1126 天久台病院敷地内)

参加費：無料 定員：20 名(要申込)

③『助成財団シンポジウム in 沖縄』

今回のシンポジウムは、全国規模の助成団体や地元の助成団体との出会いを活かしながら、各団体の助成金の趣旨や特徴、申請のコツやヒントが学べます。

◆参加予定助成団体など◆

トヨタ財団 三菱財団 キリン福祉財団 損保ジャパン
日本興亜福祉財団 環境財団 日本郵便(株) など

日時：11 月 18 日(土) 13:00～18:00

会場：沖縄大学アネックス共創館(元沖縄短期大学)
(沖縄県那覇市国 場 405)

上記①～③イベントのお問い合わせ、お申込みについては
「NPO 法人まちなか研究所わくわく」 TEL：098-861-1469

❀「エコット」からのお届け物❀

毎月、健康からエコを考える会「エコット」の宮島さんが持ってきてくださる作品。今回は、秋の訪れを感じさせる作品がそろっています。センター窓口にて展示していますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください(°^°)





☆FUN 日カフェ開催☆

9月26日にFUN日カフェを開催！
多くの入居団体の方々に参加して
いただき、楽しい交流の場となりました。
FUN日カフェは、毎月第4
金曜日を予定しています。
どうぞお気軽にご参加ください。



助成金情報

『平成30年度 こどもゆめ基金助成金』

締切 ◆郵送 平成29年11月14日（火）【消印有効】
◆電子申請 平成29年11月28日（火）【17時締切】

■助成対象活動■

- 子どもの体験活動…キャンプや自然観察などの自然体験活動／清掃活動等の社会奉仕体験活動など
- 子どもの読書活動…読み聞かせ会、読書会活動など
- 子供向け教材開発・普及活動…インターネット等で使用可能なデジタル教材を開発し普及する活動

■助成対象団体■

- 青少年教育に関する団体（公益財団法人、公益社団法人、一般財団法人、一般社団法人、特定非営利活動法人、法人格を有しないが青少年のために活動する団体）

■助成金額■

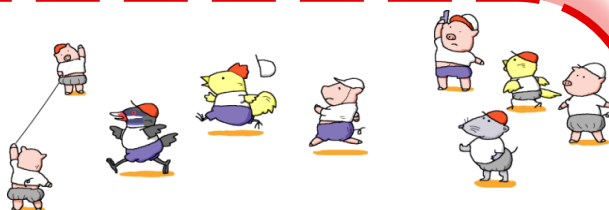
各団体から提出された申請書を専門的見地から合議により
評価し、採択する活動及び助成金額を決定する

■問い合わせ先■

独立行政法人 国立青少年教育振興機構
こどもゆめ基金助成課

TEL: 0120-57-9081 (平日 9:00～17:45)

E-MAIL: yume@niye.go.jp



『2018年度防災教育チャレンジプラン』

締切 平成29年11月24日（金）【17時締切】

■助成対象活動■

- 全国で取組まれつつある防災教育の場の拡大や質の向上に役立つ共通の資産を目的に、新しいチャレンジをサポート

■助成対象団体■

- 防災教育を一層重質させたいと考えている教育・社会福祉施設（保育施設・幼稚園・学校等）、教育委員会、NPO、民間企業、個人、地域団体（民間事業所、各種団体、行政機関）

■助成金額■

1件当たりの上限額：30万円

■問い合わせ先■

防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局

E-MAIL: cpinfo2865@bosai-study.net

FAX: 03-3556-8217





市民活動のヒントに！ 今月の本☺

センターからの今月の一冊はこちら♪

『他力資本主義宣言』

～「脱・自己責任」と「連帯」でこれから生きていく～

著者：湯川カナ 徳間書店刊



●自己責任論ばかりが問われる現代社会に疑問を呈し、もっと「連帯し」、支えあう生き方の重要性を訴える。著者が師と仰ぐ内田樹氏との対談を収録。

社会的責任を果たすのって、本当に大変。「やらなければいけないから、やる」じゃなくて、「やりたいから、やる」というマインドじゃないと、エンドレスの責任なんて果たせない。長期的な仕事をしようと思ったら、よろこんでやらないと。「なぜ、あなたは力を貸してくれるのですか？」「うーん、楽しいから」それだけ。助けられる人になるために必要なのは、まず橋を渡すこと。「助けたり/助けられたり」という、人間と人間の相互扶助的な関係をつなぐ橋。本気で楽しいことをやっていれば、誰かとのあいだに、きっと橋がかかり、とのこと。個人的には、30 頁から 34 頁の「自分の存在を承認される喜び」。レヴィナス的レスポンスビリティの解釈。「贈与と祝福」それに対する「返礼」の話が、これからのボランティア活動を考える上で腑に落ちる話でした。

哲学的な解釈で元気をもらえる本です。

By 宮内



なは市民活動支援センター

検索

お問い合わせ なは市民活動支援センター

〒900-0004 那覇市銘苅 2-3-1 なは市民協働プラザ 2 階

TEL : 098-861-5024 / FAX : 098-861-5029

メール : C-KATU005@city.naha.lg.jp

会議室の料金

会議室①(84 人)1300 円/1 時間 ★舞台アリ

会議室②(36 人)650 円/1 時間

会議室③(45 人)650 円/1 時間

会議室④～⑦(12～18 人)200 円/1 時間

会議室⑧(24 人) 250 円/1 時間

研修室①(16 人) 200 円/1 時間 ★和室

研修室②(17 人) 200 円/1 時間

市民活動等にぜひお役立てください(∩_∩)♪

たくさんのご利用、お待ちしております！

■ 印刷料金 ■ ※印刷用紙はご持参ください。

	サイズ	金額
モノクロ	A3 以内	1 枚 1 円
カラー	A3 以内	1 枚 4 円

※平成 29 年 4 月料金改定

